

第897号

令和6年2月28日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)

リエゾン



佐渡合病院小児科
医 長 岡崎 実

「リエゾン-こどものこころ診療所」という漫画があります。大災害ではリエゾンチームが派遣されます。何だろうと調べてみると、このリエゾンという言葉は「連携、橋渡し、つなぐ(人)」という意味のフランス語だそうです。今や、医療や介護では「連携」の連呼ですが、「リエゾン」は響きが柔らかくて気に入りました。

ところで、発達凸凹を持っている子どもたち、ちょっと見では分からないので、「誤解されて怒鳴られる」災害に被災しやすい。それどころか、超少子化社会では、町中で子どもに接する機会さえ減っているのです。住民からの「理解不足による静かな怒り」災害に傷めつけられる運の悪い親子までいます。

子どもと接する機会に恵まれた私たちには、新たな役割があると気付きました。子ども「推し」の楽しさを積極的に話題にすることで、子どもたちと超少子化社会の大人たちとを優しくつなぐ「リエゾン」になれそうです。



子どもとインターネット



中央福祉相談センター
相談判定課 主任 金井 綾子

今年度の4月より、児童相談所の佐渡駐在所に勤務しております。

ここ数年で、子どもが自分用のスマートフォンを持つ割合はどんどん高くなっています。ネットリテラシーを身に付けることが必須の時代となりましたが、大人たちはそれをどの程度理解しているのでしょうか？

SNSで知り合った大人から性被害にあう未成年の事件は後を絶ちませんし、子どもが犯罪やいじめの加害者になってしまうこともあります。少し前に面接した子どもから「今の子はLINEじゃなくてインスタグラムのDM(ダイレクトメール)でやりとりするんだよ」と聞き、驚くと同時に『若者の常識』は刻一刻と変わり続けているのだと感じました。

インターネットもSNSも危険が多く、大人は心配のあまり、取り上げる、禁止する等の方法でコントロールしようとしてしまいます。しかし、スマートフォンが当たり前の存在である子どもにとって、強硬な方法は軋轢を生むだけです。当たり前の中でどのように子どもを守るか、大人側の歩み寄り工夫が求められます。



「できる」ってうれしい！

サ行音がタ行音に置き換わり、練習に通うお子さんは多くいます。Aさんもその一人でした。Aさんは、口の周りの筋肉が弱く、舌の状態も良好ではなかったことから、始めは、ストローを吹いたり、戻したりする練習や舌の運動など、発音改善の前段階の練習を繰り返し行いました。

中学年になり、サ行音を出す基本の「風の音」に学習を進めましたが、思うようになかなか出せません。クラスでの発言の声も以前に比べて小さくなりました。そんな時、Aさんから「早く『さしすせそ』を言えるようになりたい。私、『せんせい（先生）』も『～さん』も言えないから。」と、訴えがありました。そこから、給食準備の際に5分ほど時間を取り、毎日練習をすることにしました。Aさんは発音の宿題にも熱心に取り組みました。「風の音」が出た時は、二人で顔を見合わせて喜びました。

現在は、サ行音が改善し、音読練習に取り組んでいます。クラスでは、声が大きくなり、挙手の回数が増えてきました。改善するまでの道のりは長く、「絶対無理。」と落ち込んでしまう時もありましたが、今は「もう『さしすせそ』は完璧だよ！」と、生き生きとした表情で教えてくれます。その言葉・表情が何よりも宝物だと感じました。

(椿 由紀子)



速報！ カフェスタッフ募集！



6月22日(土)に「注文に時間のかかるカフェ in 新潟」(吃音のある若者たちが安心して接客の夢に挑戦できるカフェ)を開催いたします。そこで、当日受付・

キッチンスタッフとして夢に挑戦したい方を先着で6名募集します。この機会にぜひ、スタッフをやってみませんか。

対象は中学生以上の吃音がある方です。詳しい条件は、右の二次元コードにアクセスし、ご応募ください。

定員になり次第募集を終了します。(メ切3月31日)



親の会コーナー



今年度終了者の保護者の方より (一部抜粋)

- 先生には言葉の発音だけでなく、本人のやる気を引き出し、自ら取り組むことの大切さを教えていただき、感謝の言葉しかございません。これまでのご指導、本当にありがとうございました。
- 集中力に欠け、ワーキングメモリーが弱い息子は1対1での丁寧なアプローチが合っていたようでした。少し早く終わった後に遊びの時間があるのも嬉しかったみたいです。心も学習面でも成長があり、支えてくださりありがとうございました。終了しますが、ことばこころ教室の益々の発展をお祈り申し上げます。
- 人前で発言するのが苦手でしたが、徐々に自分の気持ちを伝えられるようになったのです。これも教室での先生とのやりとりの中で、思ったことを伝えたり発表する機会を作っていたいたりしたおかげだと思います。成長するにつれて気持ちの切り替えも出来るようになりました。先生方には大変お世話になりました。
- 息子に合わせた授業を考えていただき、私も勉強になることが多かったです。自分の言葉を相手に伝えることが苦手でしたが、今では友達にも伝えたい言葉が言えるようになり成長を感じています。本当にありがとうございました。



終了者懇話会のお知らせ



佐渡ことば・こころの教室では、毎年「終了者懇話会」を開催しています。今年度終了となったお子さんとその保護者の方を対象に、これまでの頑張りを称え、教室に関係するみんなで終了を祝う会です。

終了式では、一人ひとりに「終了証書」が授与されます。懇話会は、同じように終了する子どもたちや保護者同士が語り合う場です。終了される皆様、ぜひともご出席をお願いいたします。

【日時】3月18日(月) 15:30~16:30

【場所】金井小学校 ことば・こころの教室

1階多目的スペース

